

パパからもらった宝もの



ご報告

移植・再生医療を支える会

会場: 京都産業会館8F シルクホール

日時: 9月21日(月・祝)22日(火・祝)

特別協賛: 株式会社わかさ生活

パパからもらった宝もの



2009年9月21・22日の2日間にわたり、京都産業会館8階シルクホールにてチャリティーミュージカル「パパからもらった宝もの」が公演されました。初の地方公演となりましたが、2日間で約1400名の方にご来場いただき、盛況の内に終えることができました。

チケットの売り上げの一部は角膜移植・アイバンク活動を行う団体に寄付させていただきます。

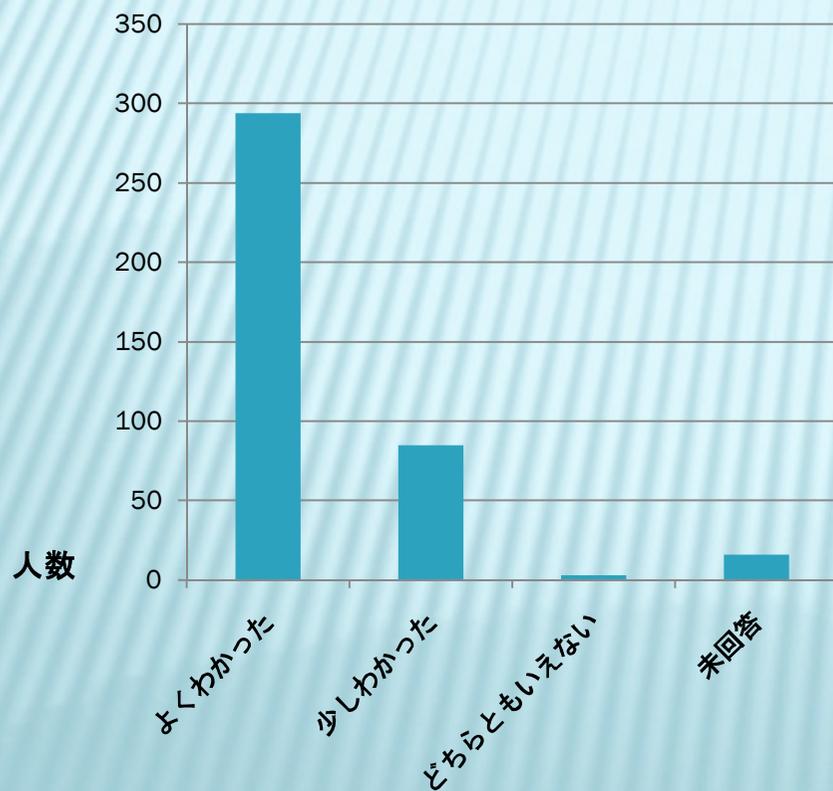
ご来場、ご賛同いただきました皆様、誠にありがとうございました。



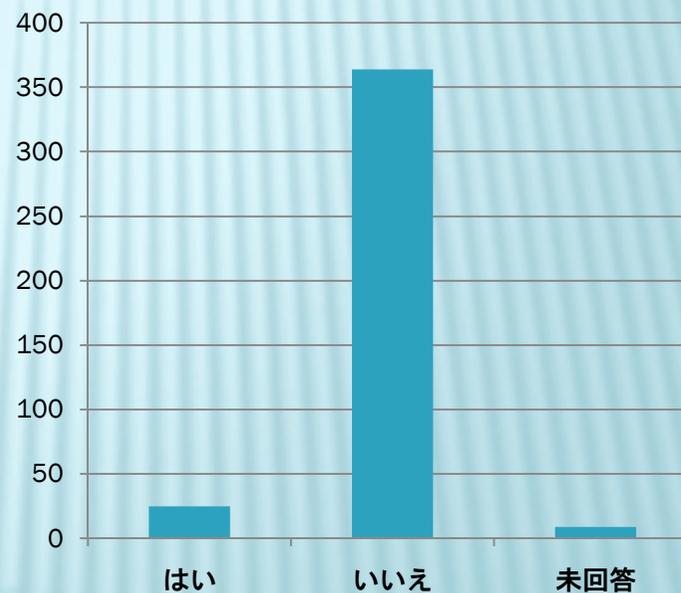
パパからもらった宝もの

アンケート結果 アンケート回収枚数 398枚

①アイバンク、角膜移植について
知ることができましたか？



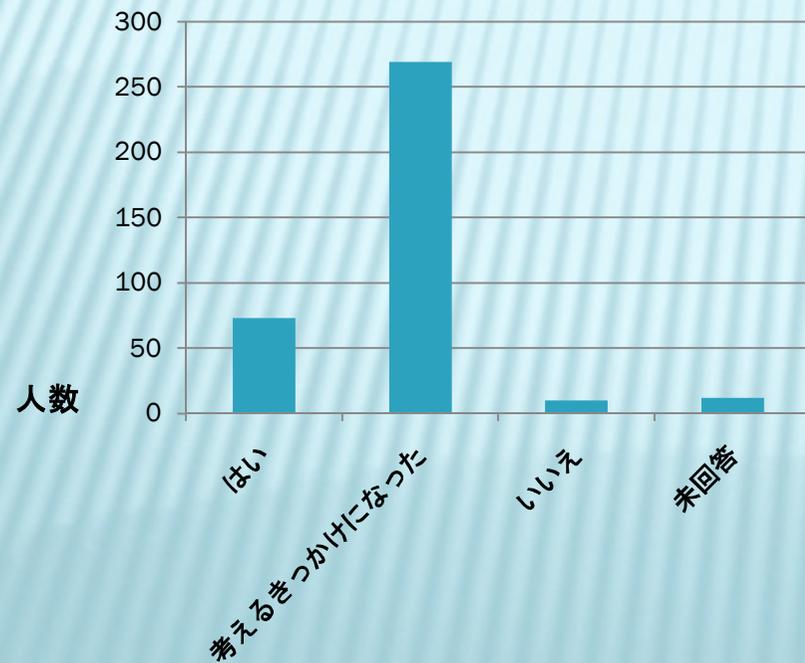
②アイバンクに登録はされていますか？



パパからもらった宝もの

アンケート結果

- ③ ②がいいえの方 このミュージカルを
ご覧になって、アイバンクに登録を
しようと思いましたか？



パパからもらった宝もの

参加者からの感想

25歳 会社員

角膜移植・医療のきれいな部分だけでなく、ドナー提供者、レシピエントの方の苦悩、医療にかかわる方の苦労など、リアルな正しい情報として分かりやすく伝わってきて胸に響きました。とても感動しました。少しでも広くアイバンクのことが伝わることを願っています。

22歳 会社員

普段の自分では気づけていない人の苦しみや葛藤を知るきっかけになってよかったです。人を大切に思う気持ちをいつまでも大切にしていきたいと思います。

36歳 主婦

今まで他人ごとだったアイバンクが身近に感じることができました。

55歳 女

「見える」ということが素晴らしいことであるということを改めて認識しました。ドナーの気持ち、レシピエントの気持ち、各々いろいろあるのだと思いました。

パパからもらった宝もの

参加者からの感想

48歳 眼科医

本当に現場で感じる臨場感があって、良かったです。すべての病棟で移植の機会があることをお伝えするのは、前向きな取り組みだと思いました。私ももっと普及していくように努力しようと思います。

22歳 大学生

私はこのミュージカルを見るまで、アイバンクというものの存在すら知りませんでした。角膜手術をすれば目が良くなるという程度の知識しかありませんでした。しかし、今回のこのミュージカルを見て、一つの手術の裏にはたくさんの人々の思いがあるということを知り、そのアイバンクを広めようという活動はとても素晴らしいと思いました。

22歳 学生

今まで自分とは関係のないこと、と置いていましたが、それがとても愚かなことだと気付かされました。提供する、しないより、まずは真剣に考えることが大事だとわかりました。

パパからもらった宝もの

参加者からの感想

22歳 女性

すべて初めて知ることでしたが、とても分かりやすく、もっと角膜移植について考えてみようと思わされました。ストーリーも素敵でした。見ることができてよかったです。

45歳 主婦

今まであまり考えたことがなかったですが、この機会に家族で話してみるのも大事だと思いました。

55歳 主婦

このミュージカルを見て、角膜移植を希望される方の思いが少しわかりました。私も目を大切に生き、できれば最後に移植を希望される方々のお役に立てればと考えています。

36歳 主婦

アイバンクについて知っているのと知らないのではずいぶん違うと思います。今日子供と一緒に話し合いができて良かったと思います